

令和 7 年 7 月 7 日  
都市整備局都心再生課

## 旧市庁舎街区活用事業における外構計画について（報告）

### 1 趣旨

旧市庁舎街区活用事業では、事業者公募の段階から景観に関して都市美対策審議会にご意見を伺いながら、事業を推進してきました。

これまで具体的な計画内容（特定都市景観形成行為）について政策検討部会にお諮りしており、第 27 回政策検討部会において、外構計画がまとまった段階でその内容を報告するようご意見をいただきおりました。

この度は、景観アドバイザーとの協議を経て、旧市庁舎街区活用事業における外構計画について計画内容がまとまりましたのでご報告します。

### 2 政策検討部会でいただいたご意見と事業者の計画に対する市の考え方について

#### （1）くすのきモール（旧くすのき広場）

- ・ くすのき広場からのつながりが継承されているような表現があってもいいのでは。
- ・ 尾上町側については隣に交通広場等もできる予定であり、そこの間の広場の在り方は交通広場等を踏まえて広場のつくり方や植栽の配置を検討すること。

⇒ 隣接街区における将来的な交通広場整備や歩行者専用道路化を見据え、空間を作りこみすぎずゆとりある空間を創出することで、人々の交流を促す快適な広場状空地を形成しています。

#### （2）尾上町通り側

- ・ 緑を建物側に寄せて、歩道と一体となった広場的空間を作れた。一方、緑の幅が均一で単調になっているので、メリハリをつけて、少し休憩できるようなところの工夫もやっていくべき。

⇒ 過去の検討時点で歩道に沿って滞留空間を形成しており、加えて、植栽ますの形状に変化を付けることで、より歩行者が親しみを持てる空間を創出し、街角に休み、憩える場を形成しています。

#### （3）継承の道

- ・ 継承するものは何かという大きなストーリー、コンテンツはあるが、歩いているときに自ずと感じられるようなオブジェクトや床面の、歩くところそのもののデザイン議論をしてはどうか

⇒ 継承の道において「土地の歴史」、ホテルロビーにおいて「旧横浜市庁舎の歴史」を表現するというコンセプトで計画しています。展示スペースでは遺構などの実物を展示し、展示スペースへの誘導としてフットプリントに実在する場所や建物を年表化することで、敷地の持つ歴史や物語を表現しています。

#### (4) 広場の運営体制や活用のイメージ

- ・ 日常的な滞留での使用以外に、年間の中でこの広場の使い方が変わるのであれば検討するといい。
- ・ 広場を誰がどうやってマネジメントしていくのか、運営管理の面や使い方を含め整理する必要がある。

⇒ 広場を日常的な滞留以外にも使用できるよう、電源や水栓を整備するなど、イベント活用を見据えた空間を形成しています。また、街区内の事業者やテナントだけでなく地域の方や第三者の方も活用できるよう体制を整え、近隣の広場等とも広報の連携を図ることで、閑内地区の魅力を発信する拠点として機能するよう計画しています。